



中国の文化Ⅸ 第四回

春秋戦国時代

儒教の誕生



?

左の写真は、新一万円札の肖像と
なった人物である。
この人物は誰か？

渋沢栄一（一八四〇～一九三一）

〔解説〕

渋沢栄一は、江戸時代の末、武蔵国の豪農の家に生まれた。

幕臣をへて明治政府に出仕。渡欧で学んだ知識をいかし、新貨条例・国立銀行条例など諸制度改革を行う。

退官後は、日本初の銀行である第一国立銀行（現みずほ銀行）の総監役、頭取となったほか、約五百の企業の設立や運営に関わり、「近代日本経済の父」と呼ばれた。



論語は万人共通の実用的教訓

〔解説〕

近代日本の金融や企業の設立に大きく貢献した渋沢であったが、利益だけを追求したのではなかった。

渋沢は日本が古くから徳育の教本としてきた『論語』を経済活動の規範とする「道德経済合一説」を唱えた。



論語は万人共通の実用的教訓

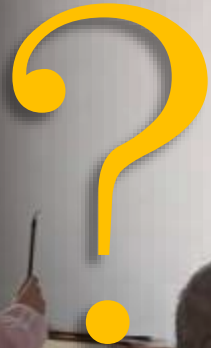
「明治六年官を辞して、年来の希望なる実業に入ることになってから、論語に対して特別の関係ができた。：：論語には己を修め人に交はる日常の教が説いてある。：：此の論語で商売は能まいかと考えた。そして私は論語の教訓に従って商売し、利殖を図ることが能ると考へた。」

渋沢栄一『論語と算盤』（忠誠堂一九二七年）



孔子学堂

阜山 吕家村



一方、中国でもいま儒教教育が復活している。

二〇一四年、中国孔子基金会が孔子学堂というプロジェクトを開始し、現在中国を中心に世界二〇か国に計三八〇〇の学堂を開設している。

また近年には孔子の生涯を描いた映画やテレビドラマも作られている。なぜいま儒教なのだろうか？



中国映画『孔子の教え』（2009年制作）

講義内容

第一節

春秋戦国時代

～五百年以上におよぶ戦乱の時代の始まり

第二節

孔子の生涯と儒教経典

～秩序ある世界の復活を求めて

學而不思則罔
思而不學則殆

第一節

春秋戦国時代

五百年におよぶ戦乱の時代の始まり

天命論と采詩の官

〔解説〕

天命論は殷代の神権政治に代わり、周代の徳治政治——神託を受けた有徳者が責任をもって人々を治めること——に理論的な根拠を与えた。

その一方で為政者の徳が衰え、民心が離れれば、天命は他の有徳者に移るものとされた。

このため周は各地の風俗を理解し、政治の得失を知るため、采詩の官を設け、民間に伝わる歌謡を採集した。



1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC		
周 1046BC-771BC		
春秋戦国時代 770BC-221BC		
秦 221BC-207BC		
漢 206BC-220AD		
魏 220-265	蜀 221-263	吳 222-280
晋 265-316		
五胡十六国時代		東晋 317-420
北朝 439-589		南朝 420-589
隋 581-619		
唐 618-907		
五代十国 907-960		
遼	北宋 960-1127	
金 1115-1234	南宋 1127-1279	
元 1271-1368		
明 1368-1644		
清 1616-1912		
中華民國 1912-1949		
中華人民共和國 1949-		

王の失政と周の衰退

〔解説〕

周は神権政治を行う殷を滅ぼし、天命論に基づく徳治主義によって人間中心の秩序ある社会を築いた。しかし、その周も建国から二百年あまりが過ぎると、王たちのたび重なる失政によって、しだいに民心を失っていった。

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265

蜀 221-263

呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-



周の第十代・厲王は、その暴虐非道な政治によって王位をおわれ、周は一時期、王の空位時代を迎える。この時代を示す言葉は、現在もmonarchy(君主制)に対するrepublicの訳語として使われているが、この言葉とは何か？

「共和」の由来

〔解説〕

君主を主権者とする「君主制」に
対し、君主のいない政体を「共和
制」という。中華人民共和国の国名
の一部にもなったこの言葉を考案し
たのは、江戸時代末の日本の学者た
ちであった。

その経緯を元東京帝国大学教授で
法学者の穂積陳重（ほずみのぶしげ 一八
五六～一九二六）は『法窓夜話』（有斐閣
一九一六年）の中で次のように紹介し
ている。



穂積陳重(1856-1926)

「共和」の由来

箕作阮甫先生の養嗣子省吾氏*は、和蘭の地理書を根拠として地理学上の著述をなした際、オランダ語のレプブリーク(Republiek)という字に出会い、その字義を辞書で求めたところ、君主のない政体をレプユブリークと称するとあった。

穂積陳重『法窓夜話』二〇一〜二頁

*箕作省吾(一八二一〜四七)は江戸時代末の蘭学者、地理学者。蘭学者箕作阮甫入門、オランダの地理書を参考に弘化二年(一八四五)『坤輿図識』を著し、吉田松陰ら幕末の思想家に大きな影響を与えた。

弘化二年乙巳刊行

坤輿圖識

全三冊

美作

夢霞樓藏版

「共和」の由来

しかし、国に君主がない政治ということは、当時の我国人にとっては何んぞ了解の出来ない事であったので、これに対して如何なる訳語を用うべきであるかと思案の余り、氏は当時の老儒大槻磐溪先生*を訪ねてその適当なる訳語を問うた。

穂積陳重『法窓夜話』二〇一〜二頁

*大槻磐溪(一八〇一〜七八)、幕末から明治初期の儒学者。



大槻磐溪(1801-78)

「共和」の由来

磐溪先生は対えて言われるには、国として君主のないのは変体ではあるが、支那にもその例がない事もないのである。かの周の時代に、王が無道の政を行って、国民の怨を買ひ、遂に出奔した時、周・召の二宰相がともに協力して、十四年の間国王なしの政治をした事が「共和」というから、国王のない政体は、共和政治というが宜しいであろうといわれた。

穂積陳重『法窓夜話』二〇一〜二頁



大槻磐溪(1801-78)

害多矣。天地百物皆將取焉，何可專也？所怒甚多，而不備大難，以是教王。王其能久乎？夫王者將導利而布之上下者也。使神人百物無不得極，韋昭曰：猶曰怵惕懼怨之來也。故頌曰：思文后稷，克配彼天。立我蒸民，莫匪爾極。大雅曰：陳錫載周。唐固曰：言文王布錫施利以載成周道也。是不布利而懼難乎？故能載周以至於今。今王學專利，其可乎？匹夫專利，猶謂之盜王而行之，其歸鮮矣。榮公若用周，必敗也。厲王不聽，卒以榮公爲卿士，用事。王行暴虐，侈傲，國人謗王。召公諫曰：

（厲）王*の行い、暴虐侈傲。国人
王を謗（そし）る。召公*諫めて曰く
「民、命に堪えず」と。王怒りて、
衛の巫を得て、謗る者を監せしめ、
告ぐれば則ち之を殺す。（中略）厲
王喜び召公に告げて曰く「吾、よく
謗るを弭（と）む。すなわち敢えて言
わず」と。

* 厲王：周王朝第十代の王（在位前八七八？～八二八）。暴虐な行為が多く、利を好み、そしる者を殺した。

＊ 召公：周の武王や周公旦の弟で、周王朝建国の功臣

「共和」の由来

(厲王の) 三年(紀元前八四一年)、
(国人) 相ともに叛き厲王を襲う。

厲王、彘(てい)*に出奔す。

(中略)

召公・周公の二相、政を行い、号
して曰く「共和*」と。

共和十四年、厲王、彘に死す。

司馬遷『史記』周本紀

*彘(てい)：地名。現在の山西省霍県の東北。

*共和：『漢書』古今人表の(唐)顔師古注や
(宋)王应麟の「詩地理考」によれば、共は
国名、和は共伯の名という。

決之使導爲民者宣之使言故天子聽政使公卿至於列士獻詩

警獻典

韋昭曰典樂也

史獻書師箴賾賦

韋昭曰无咎子曰賾賦

朦誦

韋昭曰有咎子而

主弦歌詠誦

百工諫

庶人傳語

韋昭曰庶人卑賤見時得失不得言傳以語士

近臣盡規

近臣諫

察警史教誨

警太史也

耆艾修之

耆艾師傅也修理警史之教以聞於王

而后王斟酌焉

是以事行而不悖民之有口也猶土之有山川也財用於是乎出備

其有原隰衍沃也

唐固曰下平曰衍有說曰沃

衣食於是乎生口之宣言也善敗於是

乎興行善而備敗所以產財用衣食者也夫民慮之於心而宣

之於口成而行之若壅其口其與能幾何王不聽於是國莫敢出

言三年乃相與畔襲厲王厲王出奔於彘

韋昭曰彘晉地漢爲縣屬河東今曰永安

厲王太子

靜匿召公之家國人聞之乃圍之召公曰昔吾驟諫王王不從以

及此難也今殺王太子王其以我爲讐而懟怒乎夫事君者險而

不讐懟

韋昭曰在危險之中

怨而不怒況事王乎乃以其子代王太子太子竟

得脫召公周公二相行政號曰共和共和十四年厲王死于彘太

司馬遷『史記』周本紀

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC		
周 1046BC-771BC		
春秋戦国時代 770BC-221BC		
秦 221BC-207BC		
漢 206BC-220AD		
魏 220-265	蜀 221-263	吳 222-280
晋 265-316		
五胡十六国時代		東晋 317-420
北朝 439-589		南朝 420-589
隋 581-619		
唐 618-907		
五代十国 907-960		
遼	北宋 960-1127	
金 1115-1234	南宋 1127-1279	
元 1271-1368		
明 1368-1644		
清 1616-1912		
中華民國 1912-1949		
中華人民共和國 1949-		

周の東遷

〔解説〕

厲王の死後、その子・宣王が即位し、周は一時期、中興の時代を迎える。

しかし、その中興も長くは続かなかった。第十二代の幽王が、祖父の厲王と同じく失政を繰り返した結果、周は父祖の地を追われ、はるか東にある洛陽に都を遷した。

司馬遷の『史記』は、その経緯を次のように伝えている。

周の東遷

子靜長於召公家二相乃共立之爲王是爲宣王宣王卽位二相
輔之修政法文武成康之遺風諸侯復宗周十二年魯武公來朝
宣王不修籍於千畝號文公諫曰賈逵曰文公文王母弟號仲之後爲王卿士也
不可王弗聽三十九年戰于千畝王師敗績于姜氏之戎韋昭曰宣王都鎬在鎬也
仲山甫諫曰民不可料也宣王不聽卒料民韋昭曰敗於姜氏時所亡也南國諸
幽王宮涅立一作生幽王二年西周三川皆震徐廣曰涇渭洛也四十一年宣王崩子
伯陽甫曰周將亡矣韋昭曰伯陽父周柱下史老子也夫天地之氣不失其序
若過其序民亂之也韋昭曰過失也言陽伏而不能出陰迫而不能蒸
於是地震今三川實震是陽失其所而填陰
陽失而在陰韋昭曰在陰下也原必塞原塞國必亡夫水土演而
民用也韋昭曰水土氣通爲演演猶土無所演民乏財用不亡何待昔伊

四十六年、宣王崩ず。子幽王宮涅
(きゅうでつ)立つ。

幽王二年、西周三川皆震す*。

伯陽甫曰く「周、將に滅びんと
す」と。

司馬遷『史記』周本紀

*涇水、渭水、洛水の三つの川が地震に
よって決壊したことを指す。周の太史で
ある伯陽甫は、こうした天変地異を、幽
王が失政によって天命を失い、周が滅亡
する予兆と考えたのである。

司馬遷『史記』周本紀

周の東遷

三年、幽王、褒姒を嬖愛（へいあい）す。

褒姒、子・伯服を生む。幽王、太子を廃せんと欲す。太子の母は申侯の女（むすめ）にして、后（きさき）たり。

後、幽王、褒姒を得て之を愛し、申后を廃し、并せて太子宜臼を去り、

褒姒を以て后と為し、伯服を以て太子と為さんと欲す。

韋昭曰爲陰陽失而在陰陰下也（漢）司馬遷『史記』周本紀

洛竭而夏亡。韋昭曰禹都陽城伊洛所近也。河竭而商亡。韋昭曰商人都衛河水所經也。今周德若二代之季矣。其川原又塞塞必竭。夫國必依山山川山崩川竭亡國之徵也。川竭必山崩。韋昭曰水泉不潤枯朽而崩也。若國亡不過十年數之紀也。韋昭曰數起於一也。天之所棄不過其紀是歲也。三川竭岐山崩三年幽王嬖愛褒姒。褒姒生子伯服。幽王欲廢太子太子母申侯女而爲后。後幽王得褒姒愛之欲廢申后并去太子宜臼以褒姒爲后以伯服爲太子。周太史伯陽讀史記曰周亡矣。昔自夏后氏之衰也有二神龍止於夏帝庭而言曰余褒之二君。虞翻曰龍自號褒之二先君也。夏帝卜殺之與去之與止之莫吉。卜請其醢而藏之乃吉。韋昭曰醢龍所吐沫龍之精氣也。於是布幣而策

周幽王關係図

申侯——申后

——太子宜臼

幽王

——伯服

褒姒

以人王後宮後宮之童妾既亂而遭之韋昭曰毀幽曰亂女七歲而毀也既笄而孕無夫而生子懼而棄之宣王之時童女謠曰壓弧箕服實亡周國韋昭曰山桑曰壓弧弓也箕木名服矢房也於是宣王聞之有夫婦賣是器者宣王使執而戮之逃於道而見鄉者後宮童妾所棄妖子徐廣曰妖一作天天幼少也出於路者聞其夜啼哀而收之夫婦遂亡犇於褒褒人有罪請入童妾所棄女子者於王以贖罪棄女子出於褒是爲褒姒當幽王三年王之後宮見而愛之生子伯服竟廢申后及太子以褒姒爲后伯服爲太子太史伯陽曰禍成矣無可奈何褒姒不好笑幽王欲其笑萬方故不笑幽王爲羹羹大鼓有寇至則舉烽火諸侯悉至至而無寇褒姒乃大笑幽王說之爲數舉烽火其後不信諸侯益亦不至幽王以號石父爲卿用事國人皆怨石父爲人佞巧徐廣曰佞一作諂善諛好利王用之又廢申后去太子也申侯怒與緡西夷犬戎攻幽王幽王舉

周の東遷

褒姒は笑うを好まず。幽王、其の笑わんことを欲す。萬方すれども故（ことさらに）らに笑わず。

司馬遷『史記』周本紀



以人王後宮後宮之童妾既亂而遭之韋昭曰毀幽曰亂既笄而孕無夫而生子懼而棄之宣王之時童女謠曰壓弧箕服實亡周國韋昭曰女七歲而毀也於是宣王聞之有夫婦賣是器者宣王使執而戮之逃於道而見鄉者後宮童妾所棄妖子徐廣曰妖一作天夭切少也出於路者聞其夜啼哀而收之夫婦遂亡犇於褒褒人有罪請入童妾所棄女子者於王以贖罪棄女子出於褒是爲褒姒當幽王三年王之後宮見而愛之生子伯服竟廢申后及太子以褒姒爲后伯服爲太子太史伯陽曰禍成矣無可奈何褒姒不好笑幽王欲其笑萬方故不笑幽王爲褒姒大鼓有寇至則舉烽火諸侯悉至至而無寇褒姒乃大笑幽王說之爲數舉烽火其後不信諸侯益亦不至幽王以號石父爲卿用事國人皆怨石父爲人佞巧徐廣曰佞一作諂善諛好利王用之史記云太子也申侯怒與緡西夷犬戎攻幽王幽王舉

周の東遷

幽王、烽燧・大鼓を為り、寇の至る有れば則ち烽火を挙ぐ。諸侯悉く至る。至れども寇無し。褒姒乃ち大いに笑う。幽王、之を説(よろこ)び、為に數(しばしば)烽火を挙ぐ。其の後、信ぜず。諸侯益(ますます)亦た至らず。

司馬遷『史記』周本紀



號石父爲卿用事國人皆怨石父爲人佞巧一作諂善諛好利王用之又廢申后去太子也申侯怒與繒西夷犬戎攻幽王幽王舉

烽火徵兵兵莫至遂殺幽王驪山下虜褒姒盡取周賂而去汲冢紀
武王滅殷以至幽王
凡二百五十七年也於是諸侯乃即申侯而共立故幽王太子宜臼是爲平王以奉周祀平王立東遷于維周禮曰九命作伯鄭
衆云長諸侯爲方伯四十九年魯

周の東遷

また申后を廃し、太子を去る。申侯怒り、繒・西夷・犬戎と与に幽王を攻む。幽王、烽火を挙げて兵を徵す。兵、至るもの莫し。遂に幽王を驪山（りざん）の下に殺し、褒姒を虜にし、盡く周の賂（たから）を取りて去る。

司馬遷『史記』周本紀



周の東遷

是に於いて諸侯乃ち申侯に即きて、共に故幽王の太子宜臼を立つ。是れを平王と為し、以て周の祀りを奉ぜしむ。平王立ち、東して雒邑（現在の洛陽）に遷り、戎の寇を辟く。平王の時、周室衰微し、諸侯、強きは弱きを并せ、齊・楚・秦・晋、始めて大なり。政は方伯に由る。乃ち大史幽王を褒姒大鼓有寇至則舉烽火諸侯悉至至而無寇褒姒乃大笑幽王說之爲數舉烽火司馬遷『史記』周本紀號石父爲卿用事國人皆怨石父爲人佞巧善諛好利王用之又廢申后去太子也申侯怒與繒西夷犬戎攻幽王幽王舉

烽火徵兵兵莫至遂殺幽王驪山下虜褒姒盡取周賂而去

武王滅殷以至幽王凡二百五十七年也

於是諸侯乃即申侯而共立故幽王太子宜臼是爲

平王以奉周祀平王立東遷于維周禮曰九命作伯鄭衆云長諸侯爲方伯辟戎寇平王之時周室衰微

諸侯強并弱齊楚秦晉始大政由方伯

隱公即位五十一年平王崩太子洩父蚤死立其子林是爲桓王

桓王平王孫也桓王三年鄭莊公朝桓王不禮五年鄭怨與魯易

許田許田天子之用事太山田也八年魯殺隱公立桓公十三年

伐鄭鄭討鄭已桓王去歸二十三年桓王崩子莊王佗立莊王

周幽王關係図

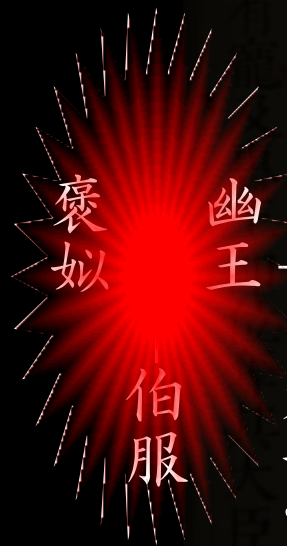
申侯——申后

——太子宜臼（東周の平王）

幽王

伯服

褒姒



周 BC1046?-BC256

周

西周の都・鎬京



周の東遷 BC770



西周の滅亡
771BC

鎬京

関谷関

洛陽

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
晋 265-316		

五胡十六国時代	東晋 317-420
---------	------------

北朝 439-589	南朝 420-589
------------	------------

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼	北宋 960-1127
---	-------------

金 1115-1234	南宋 1127-1279
-------------	--------------

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-



周の青銅器はなぜ埋められたのか
殷王朝とは異なり、周王朝はそ
實在を証明する大盂鼎などの青銅器
が、早くから出土していた。
これらの青銅器はなぜ埋められた
のか？

残された青銅器

〔解説〕

突然の遷都のため、運ぶことができなかった大型の青銅器は、周の故地である周原（陝西省岐山県と扶風県一帯）の地中に埋められた。

しかし周が再びこの地に都を戻すことはなかった。このため、それらの青銅器は埋められたままとなった。

前回の授業で紹介した大盂鼎も、清の道光二九年（一八四九）に、周の故地陝西省郿県礼村で出土した。



大盂鼎 (B.C.1000頃)

春秋戦国時代の始まり

〔解説〕

紀元前七七〇年に都を洛陽に遷して以降、周室は衰微し、秦が再び全土を統一するまでの五百年あまりの間、中国は弱肉強食の戦乱の時代を迎える。

この時代を春秋戦国時代という。

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0			
100	漢 206BC-220AD		
200			
300			
400			
500			
600	魏 220-265 蜀 221-263 呉 222-280 晋 265-316		
700			
800			
900			
1000			
1100	五胡十六国時代 東晋 317-420		
1200			
1300			
1400			
1500			
1600	南北朝 439-589 南朝 420-589		
1700			
1800			
1900			
2000			
	隋 581-619		
	唐 618-907		
	五代十国 907-960		
	遼 北宋 960-1127		
	金 1115-1234 南宋 1127-1279		
	元 1271-1368		
	明 1368-1644		
	清 1616-1912		
	中華民國 1912-1949		
	中華人民共和國 1949-		

A traditional Chinese painting depicting a group of men in a room. A central figure, likely Confucius, is seated and addressing the group. The room is filled with people, some seated and some standing, all dressed in traditional Chinese attire. The background features a large, ornate screen or wall with a grid pattern.

第二節

孔子

秩序ある平和な世界を求めて

秩序ある平和な世界を求めて

〔解説〕

五百年あまりに及ぶ戦乱の中、中国には諸子百家と呼ばれる数多くの思想家が登場した。

思想家たちが百家争鳴する中、人への愛を説き、普遍的な人間の生き方を語ることで、秩序ある平和な世界を築こうとした思想家がいた。孔子である。

孔子はどのような生涯を歩み、その思想は今日の私たちにどのような影響を与えているのだろうか

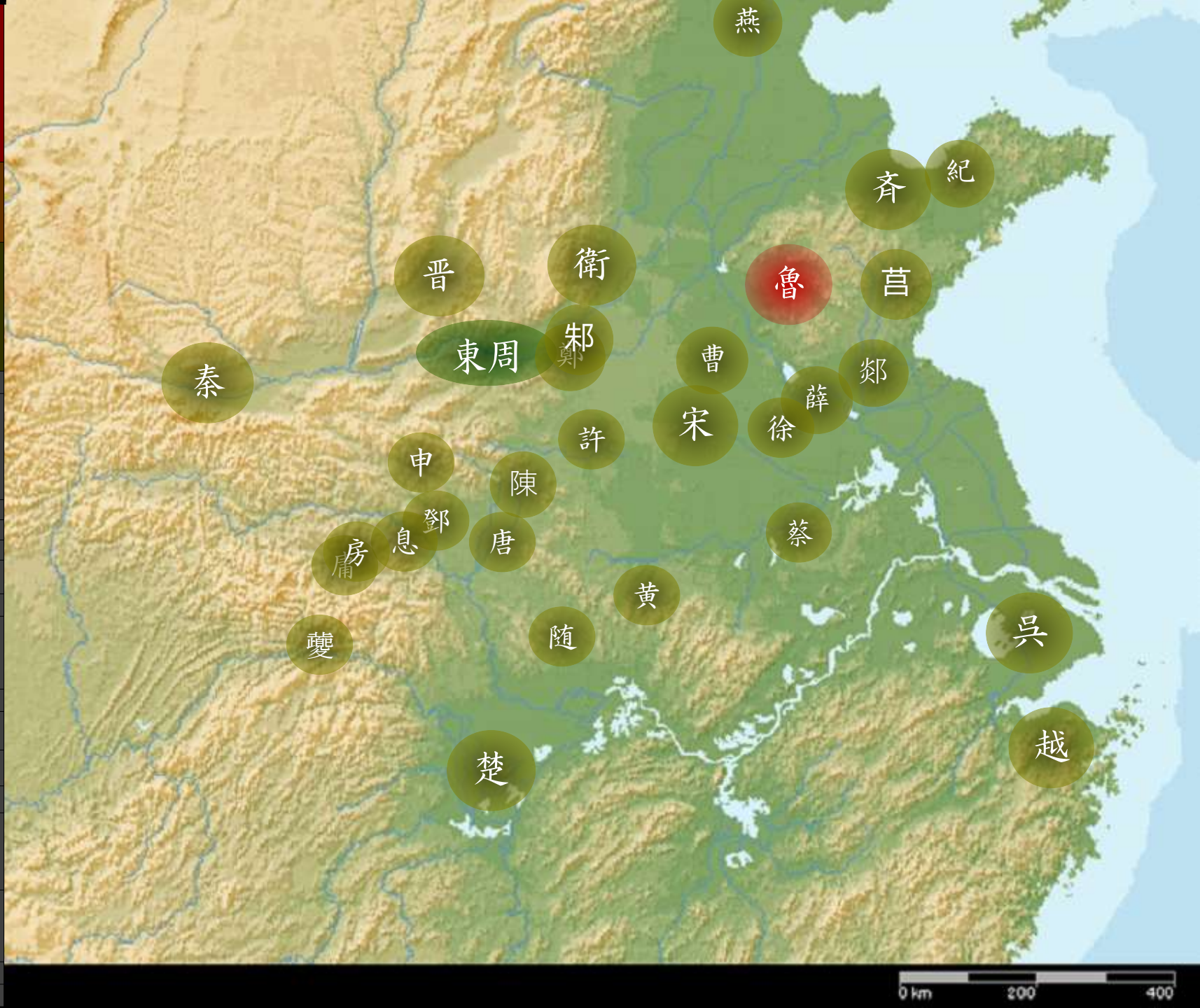


1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC		
周 1046BC-771BC		
春秋戦国時代 770BC-221BC		
秦 221BC-207BC		
漢 206BC-220AD		
魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
晋 265-316		
五胡十六国時代		東晋 317-420
北朝 439-589		南朝 420-589
隋 581-619		
唐 618-907		
五代十国 907-960		
遼	北宋 960-1127	
金 1115-1234	南宋 1127-1279	
元 1271-1368		
明 1368-1644		
清 1616-1912		
中華民國 1912-1949		
中華人民共和國 1949-		

孔子、魯に生まれる（551BC）

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
700BC			
600BC			
500BC			
400BC			
300BC	秦 221BC-207BC		
200BC			
100BC	漢 206BC-220AD		
0			
100			
200	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
300		晋 265-316	
400	五胡十六国時代		東晋 317-420
500	北朝 439-589		南朝 420-589
600	隋 581-619		
700	唐 618-907		
800			
900			
1000	五代十国 907-960		
1100	遼	北宋 960-1127	
1200	金 1115-1234	南宋 1127-1279	
1300	元 1271-1368		
1400	明 1368-1644		
1500			
1600			
1700	清 1616-1912		
1800			
1900			
2000	中華民國 1912-1949		
	中華人民共和国 1949-		



「野合而生」

〔解説〕

孔子は中国、春秋時代の思想家で、儒家の祖。名は丘、字は仲尼といい、紀元前五五二年、魯の昌平郷陬邑（すうゆう）に生まれた。

『史記』によれば、孔子の父・叔梁紇と母・顔徴在は、孔子を「野合して生んだ」という。下級の武人であつた父は孔子が幼い頃に戦死し、母も正妻ではなかったため、孔子は母子家庭の中で育つたという。



年号	西暦	年齢	出来事
襄公21年	552BC	0歳	孔子、魯に生まれる。生後まもなく父・叔梁紇、没 * 史記の説。公羊伝や穀梁伝は孔子の生年を襄公21年とする * 孔子は“野合而生”（私生児）であったため、父の墓所さえ知らされなかった
昭公13年	529BC	22歳	母の顔徴在、没 * シングルマザーとして自分を育ててくれた母が死ぬと、孔子は父の墓を探して二人を合葬した
25年	517BC	34歳	昭公、三桓討伐に失敗、齊に亡命。孔子も後を追う * この外遊中に齊で古代の舜の音楽である韶を聞く（齊の景公に拝謁したのもこのころ？）
26年	516BC	35歳	齊から魯に帰り、塾を開いて後進の指導を始める
32年	510BC	41歳	魯の昭公、亡命先の齊で没
定公 9年	501BC	50歳	魯に仕官、中都の宰となる
12年	498BC	53歳	大司寇となり三桓の勢力を抑えようとするが失敗
13年	497BC	54歳	魯を去り、こののち十三年間、列国を放浪
哀公11年	484BC	67歳	放浪を終え、魯に帰る * この年、子の鯉が亡くなったのを始めとして、数年の間に愛弟子の顔回や子路を相継いで亡くす
14年	481BC	70歳	魯の哀公、麟を捕獲し、孔子、嘆く
16年	479BC	72歳	没 曲阜北郊の泗水のほとりに葬られる

挫折から教団の結成へ

〔解説〕

当時、魯の国政は三桓と呼ばれる有力貴族によって壟断されていた。魯の昭公はこれらの勢力を抑えようとしたが、逆に国を追われ、斉に亡命した。

昭公の後を追って斉に行った孔子は、斉に伝わっていた周の秩序ある儀礼や制度に感銘を受け、斉の景公にその復興を訴えた。しかし、その迂遠な思想は受け入れられず、孔子は魯に帰って塾を開き、弟子たちの育成に努めた。



年号	西暦	年齢	出来事
襄公21年	552BC	0歳	孔子、魯に生まれる。生後まもなく父・叔梁紇、没 * 史記の説。公羊伝や穀梁伝は孔子の生年を襄公21年とする * 孔子は“野合而生”（私生児）であったため、父の墓所さえ知らされなかった
昭公13年	529BC	22歳	母の顔徴在、没 * 母の死後、孔子は父の墓を探し出し、二人を合葬した
25年	517BC	34歳	昭公、三桓討伐に失敗、齊に亡命。孔子も後を追う * この外遊中に齊で古代の舜の音楽である韶を聞く（齊の景公に拝謁したのもこのころ？）
26年	516BC	35歳	齊から魯に帰り、塾を開いて後進の指導を始める
32年	510BC	41歳	魯の昭公、亡命先の齊で没
定公 9年	501BC	50歳	魯に仕官、中都の宰となる
12年	498BC	53歳	大司寇となり三桓の勢力を抑えようとするが失敗
13年	497BC	54歳	魯を去り、こののち十三年間、列国を放浪
哀公11年	484BC	67歳	放浪を終え、魯に帰る * この年、子の鯉が亡くなったのを始めとして、数年の間に愛弟子の顔回や子路を相継いで亡くす
14年	481BC	70歳	魯の哀公、麟を捕獲し、孔子、嘆く
16年	479BC	72歳	没 曲阜北郊の泗水のほとりに葬られる



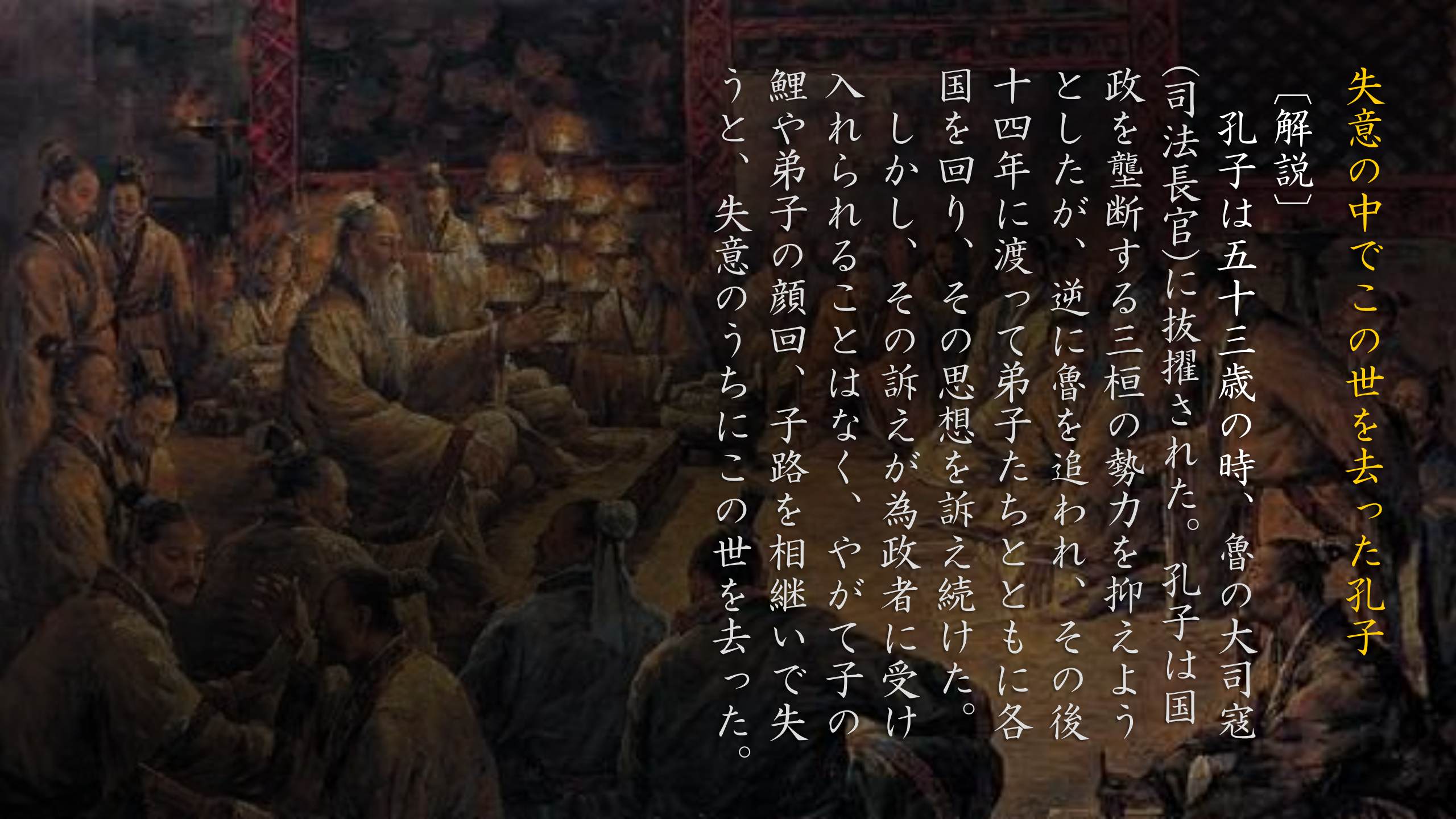


失意の中でこの世を去った孔子

〔解説〕

孔子は五十三歳の時、魯の大司寇（司法長官）に抜擢された。孔子は国政を壟断する三桓の勢力を抑えようとしたが、逆に魯を追われ、その後十四年に渡って弟子たちとともに各国を回り、その思想を訴え続けた。

しかし、その訴えが為政者に受け入れられることはなく、やがて子の鯉や弟子の顔回、子路を相継いで失うと、失意のうちにこの世を去った。



年号	西暦	年齢	出来事
襄公21年	552BC	0歳	孔子、魯に生まれる。生後まもなく父・叔梁紇、没 * 史記の説。公羊伝や穀梁伝は孔子の生年を襄公21年とする * 孔子は“野合而生”（私生児）であったため、父の墓所さえ知らされなかった
昭公13年	529BC	22歳	母の顔徴在、没 * 母の死後、孔子は父の墓を探し出し、二人を合葬した
25年	517BC	34歳	昭公、三桓討伐に失敗、齊に亡命。孔子も後を追う * この外遊中に齊で古代の舜の音楽である韶を聞く（齊の景公に拝謁したのもこのころ？）
26年	516BC	35歳	齊から魯に帰り、塾を開いて後進の指導を始める
32年	510BC	41歳	魯の昭公、亡命先の齊で没
定公 9年	501BC	50歳	魯に仕官、中都の宰となる
12年	498BC	53歳	大司寇となり三桓の勢力を抑えようとするが失敗
13年	497BC	54歳	魯を去り、こののち十三年間、列国を放浪
哀公11年	484BC	67歳	放浪を終え、魯に帰る * この年、子の鯉が亡くなったのを始めとして、数年の間に愛弟子の顔回や子路を相継いで亡くす
14年	481BC	70歳	魯の哀公、麟を捕獲し、孔子、嘆く
16年	479BC	72歳	没 曲阜北郊の泗水のほとりに葬られる





孔子思想とは？

子曰く、之を道（みちび）くに政を以てし、之を齊（と）のうるに刑を以てすれば、民は免れて恥無し。之を道（みちび）くに徳を以てし、之を齊（と）

のうるに礼を以てすれば、恥あり且つ格（ただ）す。

諸紀皆繫於斗是衆星共之也

子曰詩三百

孔曰篇之大數一言以蔽之

言以蔽之

包曰蔽

猶當也

曰思無邪

包曰歸於正

正義曰此章言

爲政之道在於去邪歸正故舉詩要當一句以言之詩三百者言詩篇之大數也一言以蔽之者蔽猶當也古者謂一句爲一言詩雖有三百篇之多可舉一句當盡其理也曰思無邪者此詩之一言魯頌駉篇

『論語』為政第二

子曰道之以政

孔曰政謂法教

齊之以刑

馬曰齊

整之以刑罰

民免而無耻

孔曰免苟免

道之以徳

包曰徳謂道德

齊之以禮

有耻且格

格正也

子曰至且格

正義曰此章言爲政以徳之效也

道之以徳

教命也

政而民不齊

以刑者齊謂齊整

以刑罰也

民免而無耻者

免苟免也

言君上則齊整

以刑罰也

民免而無耻者

恥且格者徳謂道德

格正也

言君上以徳齊民

以禮有

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265

蜀 221-263

呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

孔子 (551BC~479BC)

秦の始皇帝、儒教を弾圧(焚書坑儒)

前漢武帝の時代、五経博士を置き、儒教国教化(136BC)

以後二千年以上にわたり、
中国文明の精神的支えとなる

儒教と東アジア

法律や刑罰ではなく、道徳や礼儀によつて秩序ある社会を築こうする儒教の教えは、やがて東アジアの国々にも広まっていた。

朝鮮半島では李氏朝鮮の時代に儒教が官学となった。

論語이 諺인 解한 卷 권之지 一 일

學호 而이 第 一 일

子不 一 曰 學호 而이 時 시 習 습 之 지 不 亦 亦 說 열 乎 호 아

子不 一 曰 學호 而이 時 시 習 습 之 지 不 亦 亦 說 열 乎 호 아

有 友 朋 友 이 自 不 遠 원 方 方 來 리 不 亦 亦 樂 락 乎 호 아

비 디 遠 원 方 方 으 로 브 터 오 면 쓰 學 습 之 지 不 亦 亦 樂 락 乎 호 아



中国大陸



朝鮮半島

儒教と東アジア

儒教を官学とした朝鮮半島では、その後二百年にわたり平和で秩序ある時代が続いた。

日本に儒教が広まったのはい
つか？

乳曰篇之大數一言以蔽之註包曰蔽

猶當也

曰思無

曰歸於正

疏子曰至無聖。
正義曰此章言。

爲政之道在於去邪歸正故舉詩要當一句以言之
詩三百者言詩篇之大數也一言以蔽之者蔽猶當
也古者謂一句爲一言詩雖有三百篇之多可舉一
句當盡其理也曰思無邪者此詩之一言魯頌駉篇

子曰道之以政

孔曰政謂法教齊之以刑馬曰齊

整之以刑罰民免而無耻註孔曰免苟免道之以德

包曰德謂道德齊之以禮有耻且格格正也

子曰至且格。正義曰此章言爲政以德之效也。道之以政者政謂法數道謂化誘言化誘於民以法制

政而民不服者則齊整之以刑罰也民免而無耻者

免苟免也言君上無鬼私也道之以德而齊之以法制刑罰則民

恥且格者德謂道德格正也言君上化民必以道德

卷之二

儒教と東アジア

〔解説〕

日本でも公家や僧侶の間では、古くから儒教が学ばれていたが、武士や庶民の間で広く学ばれるようになったのは、江戸時代以降である。

秀吉の朝鮮出兵の際、被虜人として日本に拉致された朝鮮の儒者・姜沆に出会った藤原惺窩は、戦国の世を終わらせ、秩序ある社会を築こうと儒教を学び、人々に伝えた。

猶當也。曰思無邪。包曰歸於正。疏正義曰此章言為政之道在於去邪歸正故舉詩要當一句以言之。詩三百者言詩篇之大數也。一言以蔽之者。蔽猶當也。古者謂一句為一言。詩雖有三百篇之多。可舉一句當盡其理也。曰思無邪者。此詩之一言。魯頌駉篇

文也。詩之為體。論功頌德。止辟防邪。大抵皆歸於正。故此一句可以當之也。包曰篇之大數。正義曰案今毛詩序凡三百一十一篇。內六篇亡。今其存者有三百五篇。今但言三百篇。故曰篇之大數。子曰道之以政。疏孔曰政謂法教。齊之以刑。馬曰齊整之以刑罰。民免而無耻。疏孔曰免苟免。道之以德。整之以刑罰。民免而無耻。疏孔曰免苟免。道之以德。子包曰德謂道德。齊之以禮有耻且格。疏孔曰格正也。子包曰至且格。正義曰此章言為政以德之效也。道之以政者。政謂法教。道謂教化。誘言化。誘於民以法。制教命也。齊之以刑者。齊謂齊整。刑謂刑罰。言道之以刑。政而民不服者。則齊整之以刑罰也。民免而無耻者。免苟免也。言君上化民不以德而以法。制刑罰則民皆巧詐。苟免也。言君上化民不以德而以法。制刑罰則民恥且格者。德謂道德。格正也。言君上化民不以德而以法。制刑罰則民或末從。化則制禮以齊整。使民知有禮則安。失禮

儒教と東アジア

〔解説〕

藤原惺窩の弟子林羅山は、幕府に仕え、儒教が武士の正学となる基礎を築いた。



日本列島



朝鮮半島



中国大陸



姜沆 (1567-1618)



藤原惺窩 (1561-1619)



林羅山 (1583-1657)

儒教と東アジア

〔解説〕

さらに中国で明朝が滅びると、その復興のため数度にわたり来日していた遺臣の朱舜水も日本に亡命した。朱舜水は、寛文五年（一六六五）、水戸藩主徳川光圀の「賓師」として江戸に招かれ、安積澹泊などの人材を育てながら、日本に儒教と中国文化を伝えた。



朱舜水木像(徳川ミュージアム蔵)



朱舜水木像(徳川ミュージアム蔵)



朱舜水が設計した円月橋(小石川後樂園)

儒教と東アジア

〔解説〕

こうして江戸時代、儒教が日本に
広まると、東アジアには二五〇年以
上にわたる平和な時代が続いた。



日本列島



朝鮮半島



中国大陸

秀吉の朝鮮出兵

李氏朝鮮

1392-1910

〔質問〕

古代中国の思想家たちの政治思想
には、殷周革命の影響があるので
しょうか。



殷周革命への批判

〔解説〕

暴力による王朝交代である殷周革命を批判する者もいた。孤竹国の公子伯夷・叔斉の兄弟である。

家督を譲り合い、故国を離れて周に來た二人は、周が殷を滅ぼすと、「以暴易暴兮 不知其非矣（暴力をもつて暴力に易うは、其の非を知らざるなり）」と批判し、周の粟を食むのを拒んで餓死したという。



(南宋)李唐「采薇圖」

孟子の革命論

〔解説〕

一方、伯夷・叔齊とは対照的に、周による殷の討伐を肯定した思想家もいる。儒家の一人孟子である。

儒教といえは、主君に絶対的な忠誠を誓う思想と考えられがちだが、孟子は齊の宣王から周の武王の殷紂王討伐について尋ねられたとき、こう答えている。



孟子 (BC372-290)

孟子の革命論

(齊の宣王が尋ねて) いった。

「殷の湯王が夏の桀王を放伐し、周の武王が殷の紂王を討伐したというのは本当か？」

「記録がございます」

「臣下が君主を殺してもよいのか。」

「仁を損なう者を賊といい、義を損なう者を殘といい、殘賊の人を一夫(独裁者)といいます。私は一夫の紂を誅したとは聞いておりますが、主君を弑したとは聞いておりません。」

如此然後可以爲民父母『孟子』梁惠王下

傳曰民之所好好之民之所惡惡之此之謂民之父母

○齊宣王問曰湯放桀武王伐紂有諸孟子對曰於傳有之

傳直變反

放置也書云成湯放桀于南巢

曰臣弑其君可乎

桀紂天子湯武諸侯

曰賊仁者謂之賊賊義者謂之殘殘賊之人謂之一夫聞誅一夫紂矣未聞弑君也

賊害也殘傷也害仁者凶暴淫虐滅絕天理故謂之賊害義者顛倒錯亂傷敗彝倫故謂

孟子の革命論

〔解説〕

孟子は殷の紂王のような仁義なき「一夫」（独裁者）であれば、これを弑してもよいと考えたのである。

このように中国には古来、「為政者の徳が衰え、民心が離れば、天命は他の有徳者に移る」という天命論に基づく革命思想があり、これを基に易姓革命が繰り返されてきたのである。



孟子 (BC372-290)

〔解説〕

このため、明経博士家であつた清原家が御進講に用いた『孟子』のテキストには、革命思想に関する文句の欄外に「此所御読無之」と朱書きされていたという。（小島祐馬『中国の革命思想』筑摩叢書五頁）

また、(明)謝肇淛『五雜俎』は、こ
んな話も伝えている。

宋政和間有于闐國進玉表章其首云日出東方赫赫大光照見西方五百里國五百里國內條貫主黑汗王表上日出東方赫赫大光照見四天下四天下條貫主舅大官家又元豐四

『孟子』と日本

日本も儒教經典を重んじ、仏教を信仰している。およそ中国の經書はみな高値で購入する。ただ『孟子』だけは買わない。この書を携帯していると船が転覆して溺れてしまうからだという。

(明)謝肇淛『五雜俎』卷四地部二

況衰亂戰爭之日暴君虐政之朝乎故老明之入流沙管寧之居遼東皆其時勢使然天子所謂夷狄之有君不如諸夏之無者其浮海居夷非浪言也

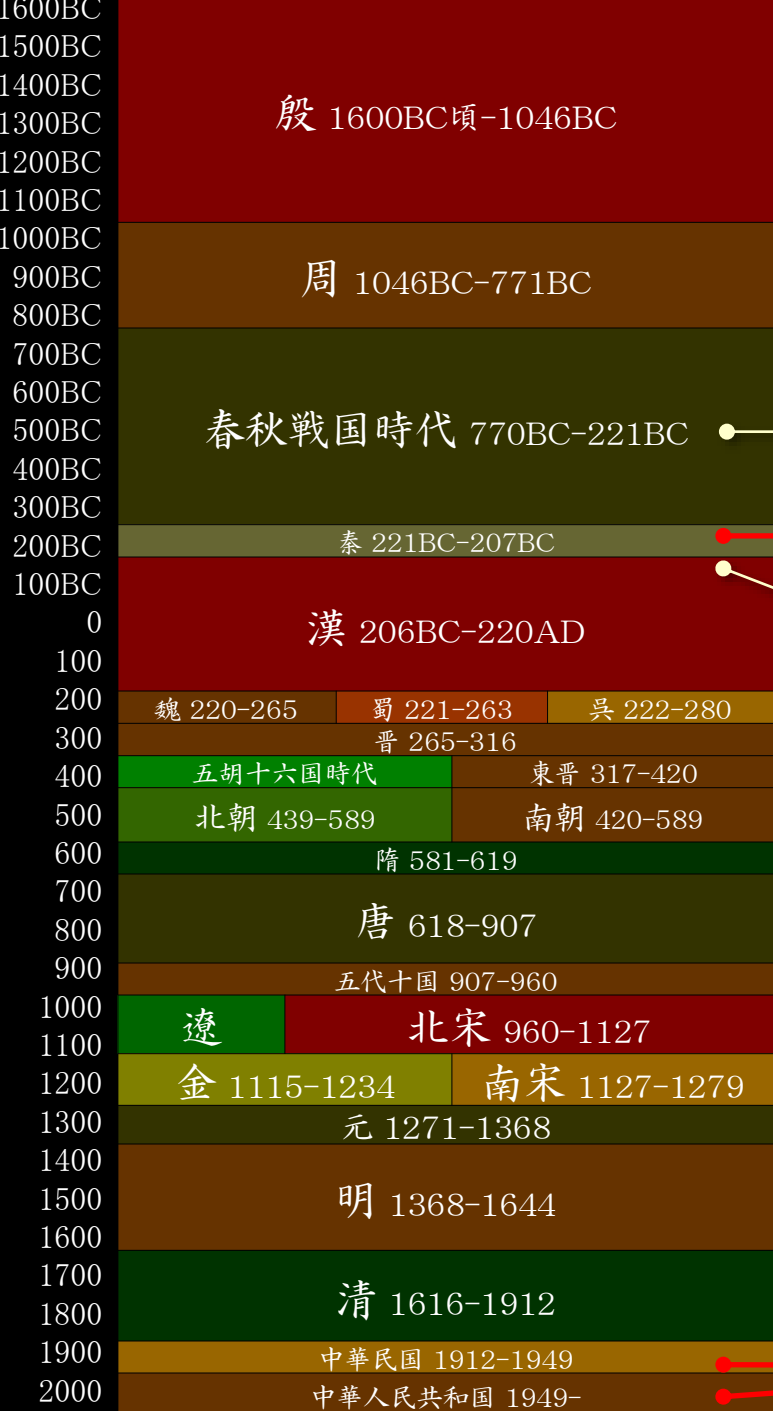
韃靼之獐獍而敬信佛法愛禮君子得中國冠裳皆不殺卽配以部落婦女見一僧至輒膜拜頂禮不敢褻慢倭奴亦重儒書信佛法凡中國經書皆以重價購之獨無孟子云有攜其書往者舟輒覆溺此亦一奇事也

宋政和間有于闐國進玉表章其首云日出東方赫赫大光照見西方五百里國五百里國內條貫主黑汗王表上日出東方赫赫大光照見四天下四天下條貫主舅大官家又元豐四

(明)謝肇淛『五雜俎』

中国ではいま儒教教育が復活している。
一方、冒頭でも紹介したように、
近代以降、封建思想として批判されてきた儒教が、なぜいま再評価されているのだろうか？





孔子 (551BC~479BC)

秦の始皇帝、儒教を弾圧(焚書坑儒)

五経博士を置き、儒教国教化(136BC)

以後二千年以上にわたり、
中国文明の精神的支えとなる

五四運動や文化大革命による儒教批判

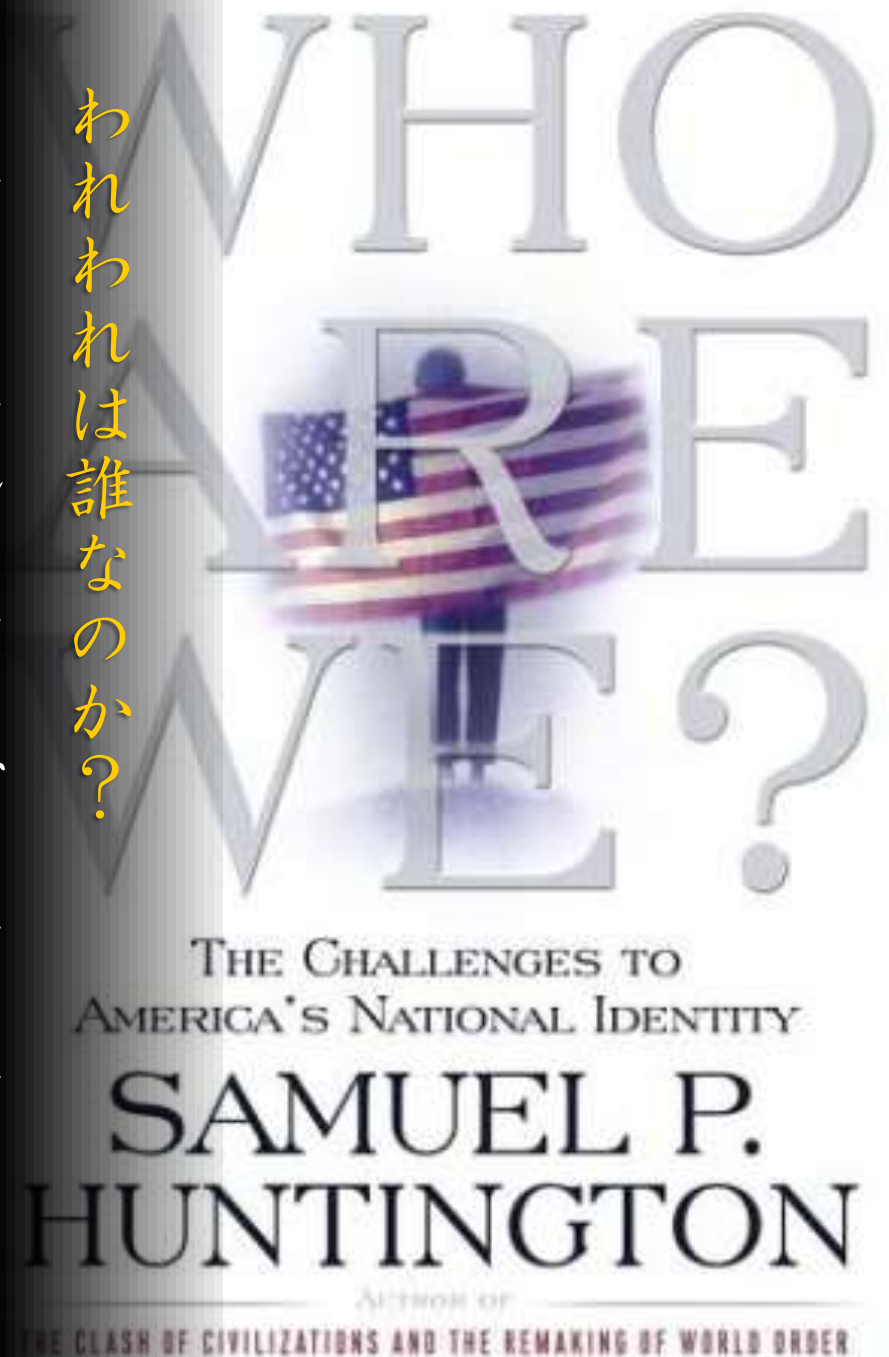


Samuel P. Huntington (1927–2008)

ナショナル・アイデンティティをめぐる議論は、われわれの時代を広く一般に特徴づけるものだ。地球上のほぼどこでも、人びとは何が共通点で、何が他の人びとと自分たちをへだてているのかについて質問し、考え直し、再定義してきた。われわれは誰なのか？ われわれはどこに属するのか？

—— Samuel P. Huntington: Who are we?

われわれは誰なのか？





Samuel P. Huntington (1927–2008)

—— Samuel P. Huntington: Who are we?

日本人は地理上の位置と歴史および文化ゆえに自分たちの国がアジアに属するのか、それとも経済力と民主主義および近代性ゆえに欧米に近いのかという問題に苦しんでいる。

われわれは誰なのか？



THE CHALLENGES TO
AMERICA'S NATIONAL IDENTITY

SAMUEL P.
HUNTINGTON

Author of
THE CLASH OF CIVILIZATIONS AND THE REMAKING OF WORLD ORDER



Samuel P. Huntington (1927–2008)

—— Samuel P. Huntington: Who are we?

われわれは誰なのか？
中国は「ナショナル・アイデン
ティティの追求」をしております、一方、
台湾は「ナショナル・アイデンティ
ティの解消と再構築」に関わってい
るという。



THE CHALLENGES TO
AMERICA'S NATIONAL IDENTITY
**SAMUEL P.
HUNTINGTON**
Author of
THE CLASH OF CIVILIZATIONS AND THE REMAKING OF WORLD ORDER

ナショナル・アイデンティティー

中国は共産党の指導の下にマルクス主義による社会主義国家の建設を進めてきた。

しかし、二十世紀の末に起こった社会主義世界の崩壊により、中国は改めて「われわれは誰なのか？」を問われるようになった。

儒教の復活は、こうした問いへの一つの答えなのである。

東西ドイツを隔てていたベルリンの壁の崩壊（1989年11月）

まとめ

■ 周の東遷の後、中国は紀元前八世紀から紀元前三世紀にかけて五五〇年に及ぶ戦乱と下剋上の時代を迎える。春秋戦国時代である。

■ 紀元前五五一年に魯の国に誕生した孔子は、周代の秩序ある社会を手本に戦乱の世を正そうと、五経と呼ばれるテキストを使って多くの弟子たちを教育した。

■ 中国では漢代に儒教が国教となり、その後二千年にわたって中華文明の精神的支えとなった。

■ 朝鮮半島では李氏朝鮮の時代に儒教が官学となり、日本でも江戸時代に儒教が正学となると、東アジアに二五〇年に及ぶ平和で安定した国際秩序が形成された。

参考文献

- 金谷治『論語の世界』（日本放送出版協会、1970年）
- 中島敦「弟子」（中島敦全集ほか）
- 小倉芳彦訳『春秋左氏伝』（岩波文庫 1988年）